

平成 23 年 12 月 7 日
原子力安全対策課
(2 3 - 3 6)
<17 時 30 分記者発表>

美浜発電所 2 号機の原子炉手動停止について (A-加圧器スプレ弁グランドリークオフ流量の増加)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所 2 号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力 50 万 kW)は、電気出力 95% (本日 16 時現在)で運転中のところ、本日、A-加圧器スプレ弁^{※1}のグランド部から 1 次冷却水をドレンタンクに回収する配管内(グランドリークオフ^{※2}配管)の流量が増加傾向にあり、この状態が継続した場合、冷却材ドレンタンクに回収された 1 次冷却水を処理する液体廃棄物処理設備の処理能力を超える可能性があることから、本日 20 時頃から出力降下を開始し、8 日 3 時頃に発電を停止し、4 時頃に原子炉を停止することとした。

今後、グランドリークオフ流量が増加した原因を調査する予定である。

今回の流量増加に関しては、平成 23 年 11 月 9 日頃からグランドリークオフ配管の温度が若干高めであったことから、当該配管内の流量等の監視を行い、運転を継続していた。

なお、格納容器内の放射線モニタや加圧器水位等の運転パラメータに変化はなく、格納容器内の監視カメラによる点検で漏えいが認められていないことから、1 次冷却材系統からの漏れはない。

この事象による周辺環境への放射能の影響はない。

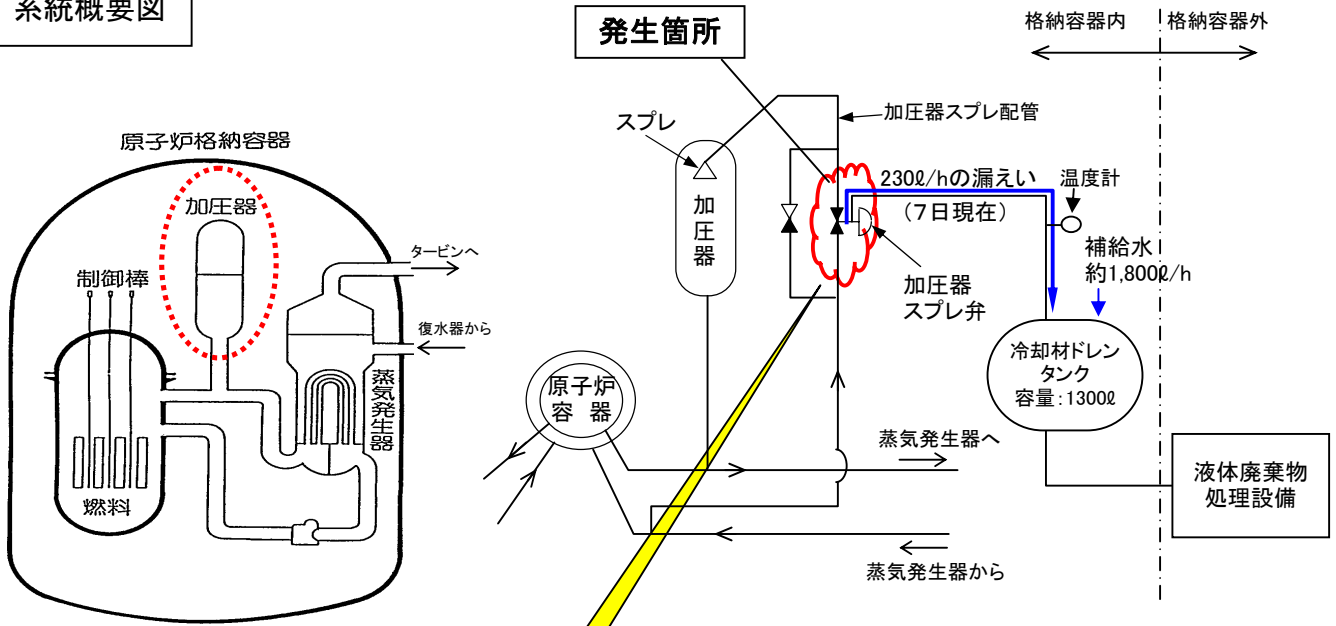
※1 加圧器の圧力が設定値(15.59MPa)を超えて高くなった場合に、加圧器内に水を拡散し、圧力を調整する弁。

※2 加圧器スプレ弁からの漏えいを系統外に出さないために設けている閉塞された系統。そこを流れる一次冷却材をグランドリークオフ水という。

問い合わせ先(担当:富田)
内線 2353・直通 0776(20)0314

美浜発電所2号機の原子炉手動停止について
 (A-加圧器スプレ弁グランドリークオフ流量の増加)

系統概要図



平成23年11月9日頃：
 グランドリークオフ配管の温度が若干高めであることを確認

その後、グランドリークオフ流量等の監視強化

加圧器スプレ弁概要図

